

事故警報

31年1月号

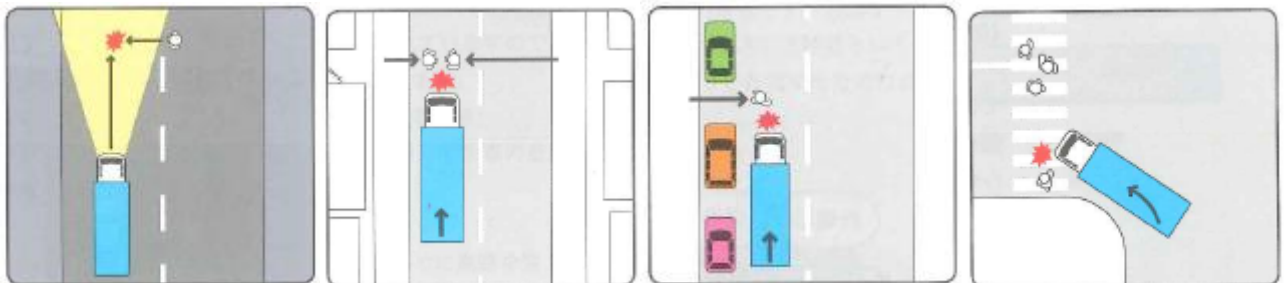
自転車・歩行者・バイクとの事故に注意



交通事故の過半数は交差点で発生、大半が昼間に発生し、バイクや自転車との出会い頭事故が多く、また、死亡事故は夜間の致死率が高く、歩行者事故が占める割合が非常に高い結果となっています。

「対歩行者・自転車事故」防止のポイント

- ・ 夜間は道路左右前方にしっかり目配りし、特にライトが当たらない右方からの横断歩行者・自転車に注意する。
- ・ 交差点付近では常に、横断してくる自転車、歩行者を想定した危険予知運転を行う。
- ・ 夜間は蒸発現象に注意する

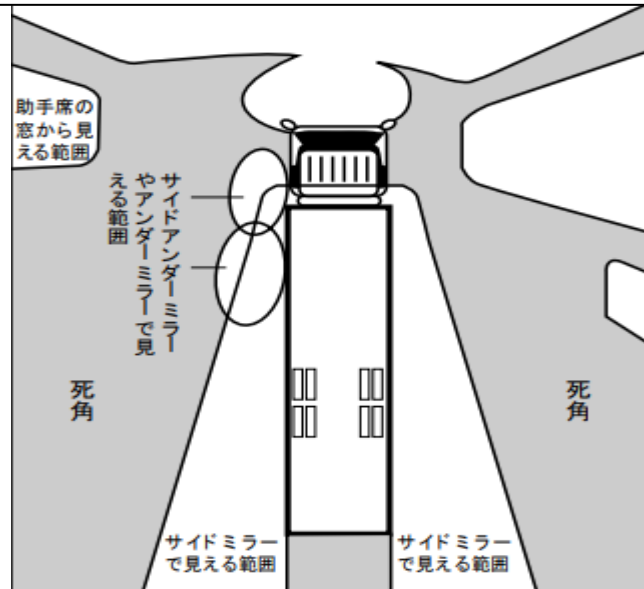


「交差点右・左折事故」防止のポイント

- ・ 交差点右折時に歩行者を撥ねる事故が多発しています。右折時はピラーとサイドミラーの死角に注意しましょう。

- ・ 交差点を慌てて右折すると歩行者等を見落としやすくなるので、ゆっくり余裕をもって交差点の中心まで行き、交差点の中心の内側を徐行で右折しましょう。

二輪車や自転車は死角に入りやすいので、右・左折時や車線変更時は意識的かつ積極的に二輪車や自転車の有無を確認する必要があります。



- ・ 信号停車から発進の際は必ずミラーで左右の後方確認を行う。
- ・ 交差点左折時は徐行し、不安があれば横断歩道の手前で停止して自転車や歩行者の有無を必ず確認する。
- ・ トラックは乗用車と比べ死角が多いため安全確認は一度だけでなく何度も行う。
- ・ 一時停止の省略、動きながらの確認をせず、必ず止まって確認をする。ゆっくり出ながら他車（者）に存在を知らせる。

「薄暮時の事故」防止のポイント

- ・ 早めのライト点灯を心がけ、自分の視界を確保することだけでなく、他車(者)に自分の存在を知ってもらうようにする。
- ・ 歩行者や自転車の通行量が増加するので、突然の飛び出しや渋滞車両の間からの横断などに注意。